

## 大阪大学が初の**プレ教育付き社会人ナノ理工学特別コース**を開設 -修士号を持つ社会人に博士後期課程の門戸を広げ、より一層のイノベーションを-

### ❖ 概要

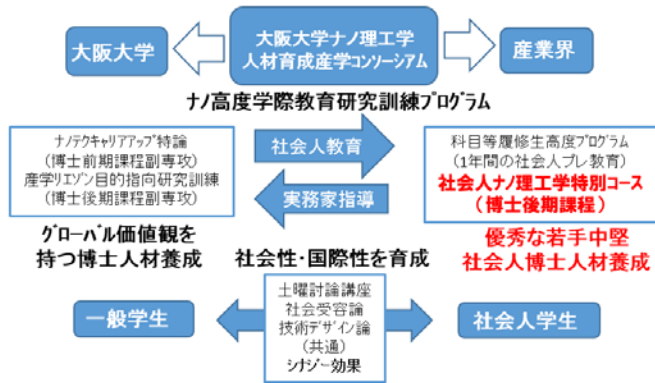
大阪大学では、ナノサイエンスデザイン教育研究センターと大学院理学研究科・工学研究科・基礎工学研究科の3研究科が連携して、大学院博士後期課程社会人ナノ理工学特別コースを平成 29 年度春より開設しました。

この特別コースは、企業等におけるものづくりの研究開発に学術的実績を持ち、所属機関より博士号取得を囑望される現役の社会人が、仕事と両立させながら、科学技術の社会性・国際性を育みつつ博士号を取得し、国際的に活躍できることを目的とするものです。

このコースでは、大阪大学の 1 年間の学び直し教育である大阪大学ナノ高度学際教育研究訓練プログラム（社会人教育）をプレ教育として修了し、所属機関により博士の十分な効果が期待できる職務に将来従事させることを強く期待される優秀な若手・中堅社会人を対象とします。

本特別コースは優秀な社会人の学び直しと学位取得の 2 つのプログラムを組み合わせた先進的でユニークな社会人博士人材養成課程であり、年齢層、背景の異なる社会人と一般学生との討論、対話を通じたこれまでにないシナジー効果も期待できるとともに、博士号取得者を重要視する企業等との連携を深める事にも繋がります。

### 産学協働でナノ理工学の博士人材育成



大阪大学と産業界との産学連携相互人材育成活動における博士後期課程社会人ナノ理工学特別コースの位置付けと社会人と一般学生のシナジー効果

### 参考 URL

ナノ高度学際教育研究訓練プログラム:

[www.insd.osaka-u.ac.jp/nano](http://www.insd.osaka-u.ac.jp/nano)

(一社)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアム:

[www.nanoscience.or.jp](http://www.nanoscience.or.jp)

### ❖ プレ教育とコースの狙い

本特別コースは、大阪大学の社会人学び直し教育「ナノ高度学際教育研究訓練プログラム（社会人教育）」(科目等履修生高度プログラム)をプレ教育として修了した社会人を対象としています。このプレ教育は、ナノ理工学の現状を理解しリーダーとなる見識・能力を身に付けた産業人を養成するために、実社会で活躍中の研究者・技術者向けの、ナノ理工学に関する 4 つの基礎科学コースを基本とし、遠隔ライブ配信を併用した 1 年間の夜間講義とスクーリング実習により構成された大学院修士相当の高度教育プログラムです。平成 20 年度に産学連携相互人材育成を謳う(一般社団法人)大阪大学ナノ理工学人材育成産学コンソーシアムを立ち上げてから、参加企業 57 社、受講生(6期生以降)約 630 名が所定の単位を取得しプログラムを修了しており、その 9 割が修士号取得者です。このような学び直しプレ教育を踏まえた社会性・国際性の見識豊かな優秀な社会人博士人材の養成が本特別コースの狙いです。

## ❖ 特色

これまでの社会人の博士後期課入学は、博士前期課程(修士課程)を修了した研究室に戻る、あるいは共同研究を既に行っている研究室に入るというパターンがほとんどでした。しかし、本プログラムでは、自身の現在の研究課題が異分野や新興分野のために、出身研究室や共同研究先の研究室にマッチしない場合や、そもそも大阪大学に特別な繋がりが無い場合でも、志願者の研究にマッチした研究科・専攻・研究室の選択の支援を行います。また、入学後も引き続き所属機関における勤務の継続を可能にするため、在学中の教育研究活動を指導予定教員と連携して相談・助言を行います。

また、「未来を牽引する大学院教育改革(審議まとめ)」(平成27年9月中央教育審議会大学分科会決定)を踏まえて文部科学省として平成28年3月に決定された第3次大学院教育振興施策要綱において、「産学官民の連携と社会人学び直しの促進、広く産学官にわたりグローバルに活躍する博士人材の育成支援」が謳われており、これに沿ってデザインされた本特別コースは、ものづくりの基礎科学技術の要となるナノ理工学分野における優秀な社会人を対象とする学び直しと学位取得の2つのプログラムを組み合わせた先進的でユニークな博士人材養成課程です。

## ❖ 社会への影響

本特別コースによって、修士の学位を有する優秀な社会人に対して博士後期課程への門戸を広げ、イノベーションに繋がる科学技術の社会性・国際性の理解と実践の強化を図り、併せて博士号取得者を重要視する企業等との連携を深める事が可能になります。

本特別コース志願に当たり、活躍する社員に博士号を取らせたいとの企業等の明確な推薦を求める事から、これら企業等との連携は、副専攻プログラムなどを通じて産学連携相互人材育成で育てた一般学生が博士号取得者としての価値を持って企業等に受け入れられる素地作りにも繋がります。

博士後期課程就学者数の増加に貢献するとともに、年齢層、背景の異なる社会人が社会性・国際性を磨く学習活動(ナノ理工学の社会受容やナノ技術デザインを討論する土曜集中講座)に加わる事により、一般学生の科学技術における社会性・国際性に対する意識向上にも繋がり、討論、対話を通じて社会人学生と一般学生とのこれまでにないシナジー効果が期待できます。

## &lt;応募方法&gt;(2019年度4月入学分)

本社会人特別コースの志願者は、平成30年12月5日(水)必着で、事前審査書類を大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センターに郵送してください。また、事前審査に合格すると、志願する研究科・専攻に本審査の出願することになります。募集人員は各研究科とも若干名です。これらの必要書類や詳しい内容、募集する研究科・専攻などは下記のURLを参照してください。応募をお考えの方は志望研究室とのマッチングをとるために、十分時間的余裕を持って下記問い合わせ先に事前相談を行ってください。なお、募集は春季・秋季の年2回おこなっております。

URL:[http://www.insd.osaka-u.ac.jp/nano/03\\_bosyu/h31.1nanoriko](http://www.insd.osaka-u.ac.jp/nano/03_bosyu/h31.1nanoriko)

## &lt;選抜試験と修了要件&gt;

選抜試験には、事前審査と本審査の二段階があります。ナノサイエンスデザイン教育研究センターが事前審査により志願者の出願の可否を決定するとともに志望研究科・専攻、および研究指導予定教員などをコーディネートします。そのうち、志望研究科の社会人を含む博士後期課程の入学試験に合格すると、現在の所属機関の勤務を継続しながら、これまで行ってきた学術的研究を発展させる形で所属研究室の教員の指導の下に研究・博士論文作成を行います。同時に、デバイス・システムコンセプトの創造に繋がる科学技術の社会性・国際性について学び、自身の研究との関連を論文の一章に盛り込み、その評価を受ける事を修了要件とするものです。

## ❖ 本件に関する問い合わせ先

大阪大学ナノサイエンスデザイン教育研究センター 副センター長 伊藤 正(いとう ただし)

TEL:06-6850-6995 または 6397 FAX:06-6850-6398

E-mail:[itoh@insd.osaka-u.ac.jp](mailto:itoh@insd.osaka-u.ac.jp) センターURL:[www.insd.osaka-u.ac.jp](http://www.insd.osaka-u.ac.jp)